

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

2021年10月22日

各位

組織改正のお知らせ

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）は、2022年1月1日付で、組織改正を次の通り行いますので、お知らせいたします。

1. デジタルトランスフォーメーションユニットの新設

- デジタル・IT 機能の再構成を行い、コーポレート機能として配置していたデジタル・IT 統轄部門を廃止し、デジタルトランスフォーメーションユニットを新設する
- 現行のデジタル・IT 統轄部門下にあるデジタル戦略推進部および IT ソリューション部をデジタルトランスフォーメーションユニットに移行する

<概要>

ユニット化により、全社デジタル・IT 戦略をより強力に推進するとともに、個別のデジタル・IT 案件へこれまで以上に深く関与することによるノウハウの蓄積・展開、ガバナンス強化およびコスト削減を通じ、TOP I 2030 の Key Driver であるデジタルトランスフォーメーション（DX）の実現を加速する。

2. 医薬安全性本部における機能再編

- セーフティサイエンス機能、データマネジメント機能の強化に向け、各機能の役割を明確化することを目的として、安全性戦略部を「セーフティサイエンス部」に、ファーマコビジランス部を「安全性データマネジメント部」にそれぞれ名称変更する
- 各部にまたがるデータサイエンス機能を整理し、安全性戦略に関わる企画・分析機能をセーフティサイエンス部に、調査推進やソリューション提供に関わる機能を安全性コミュニケーション部に、それぞれ分割統合する
- 各部の基盤業務ならびに DX に関わる機能を安全性推進部に集約する。またクオリティマネジメントにおける質と効率の両立を目的とし、信頼性保証ユニットとの機能再編を実施する
- 安全性リアルワールドデータサイエンス部を廃止し、同部が担っていたファーマコビジランス業務を各部に移管する

<概要>

RED SHIFT を念頭においた、自社品の開発早期から上市後に至る一貫した適切なリスクアセスメント・リスクマネジメントを実践するためのセーフティサイエンス機能の強化、および製造販売後調査を含むリアルワールドデータに関するデータサイエンス機能の戦略的かつスピーディな活用を目的とした組織改正を実施する。

以上